

表4 学習教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

学習・教育目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A群 (科学知識の基礎を習得し、様々な生命活動を理解する)	A群 I (生命科学系)	動物行動学	◎魚類生態学 生命科学基礎	水産動物学 海棲哺乳類学	◎魚類環境生理学 魚類繁殖生理学 魚類内分泌学 水族館学 微生物海洋学	魚類発生生物学	生体分子解析学	◎卒業研究	
	A群 II		◎水産実用数学						
B群 (水域における多様な食糧生産システムを地球的視野から理解し、応用できる)	B群 I (増殖生産系)		◎海水養殖学	◎淡水増殖学 栽培漁業論	種苗生産学 魚類育種学	魚病学 魚類栄養学	介類増殖学	◎卒業研究	
	B群 II (漁業生産系)		◎水産海洋学 ◎水産資源学		漁業情報学	漁業生産システム論			
C群 (水域の環境保全の重要性を生物・環境の両面から認識し、多面的に考える)		◎生態系科学基礎	水圏微生物学	◎海洋生態系科学 陸水学	水質学	水族環境学	海洋環境修復学	◎卒業研究	
D群 (世界における水産資源の利用方法を修得し、その流通を含む食糧問題への対応力を養う)	D群 I (利用系)		◎水産化学	水産利用学 水産食品保蔵学 食品微生物学	◎水産生物化学	食品衛生管理学 食品衛生管理学	食品製造管理学 水産資源化学	◎卒業研究	
	D群 II (流通経営系)	◎水産経済学		水産物マーケティング論	漁業管理論		水産法制度論 ◎水産経営学		
E群 (学内外の諸施設を利用した実験・実習・見学により実践力を修得する)		◎水産学基礎実験 I		◎水産学基礎実験 II ◎養殖学基礎実習		水産増殖学実習 水産生物学実習 化学実験 水族環境学実験 漁業情報学実習 水産経済調査実習 海棲哺乳類学実習 ◎水産技術専門演習	水産増殖学実験 生物学実験 水産利用学実習 水産微生物学実験 物理学実験 水産経済学演習 海棲哺乳類学実験 ◎水産技術専門実験	◎専門演習 I	◎専門演習 II
								◎卒業研究	

学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
F群（水産技術者として必要な世界観・倫理観を身につける）		技術者倫理					◎卒業研究	
G群（水産技術者として必要な論理的記述力、口頭発表力、コミュニケーション能力を身につける）	第一外国語科目 第二外国語科目 ◎基礎ゼミ	第一外国語科目 第二外国語科目	第一外国語科目 第二外国語科目	第一外国語科目 第二外国語科目	◎専門英語Ⅰ ↓ ◎水産技術専門演習	◎専門英語Ⅱ ↓ ◎水産技術専門実験	◎専門演習Ⅰ ↓ ◎卒業研究	◎専門演習Ⅱ ↓ ◎卒業研究
H群（水産技術者として必要なデザイン能力・自主性・計画的遂行力を身につける）	◎基礎ゼミ		◎水産学基礎実験Ⅱ		◎専門英語Ⅰ ↓ ◎水産技術専門演習	◎専門英語Ⅱ ↓ ◎水産技術専門実験	◎専門演習Ⅰ ↓ ◎卒業研究	◎専門演習Ⅱ ↓ ◎卒業研究